

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年8月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675900106
法人名	社会福祉法人 桃蹊会
事業所名	グループホーム サンライト
所在地	鹿児島県霧島市牧園町高千穂3617番地640 (電話) 0995 (78) 2320
自己評価作成日	平成29年6月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年8月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

霧島の自然に囲まれた環境の中にグループホームがあります。ホーム母体になっている福祉法人の介護保険関連施設、福祉施設、医療法人、病院などが同敷地内にあり相互関連しあっています。桃蹊会の運営理念である「あいさつと声かけは福祉の原点である」を基本に入居者様、家族、職員が信頼できる関係作りに取り組んでいます。入居者様の思いを汲み取り何がしたいかを考えチームケアで取り組んでいます。運営推進会議やホーム行事にグループホームがある地区の住民代表に出席して頂いており、地域行事などの情報を頂いて地域への参加が少しでも出来るよう検討しています。今後も入居者様が笑顔で過せるように、取り組んでいきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、社会福祉法人が運営しており、介護老人保健施設や障害者支援施設・医療機関等に隣接し、緊急時や夜間の医療連携体制が整っている。
- ・利用者が職員と一緒に料理をするエプロンの日、好みの物をリクエストするドリンクバーの日・お菓子バーの日・個別対応の願いが叶う日を設けるなど、職員全員で工夫しながら取り組んでいる。
- ・管理者は、職員が働きやすい職場環境を整え、個人的な事情にも配慮した勤務体制を工夫して取り組んでいる。
- ・利用者一人ひとりの考えや思いを大切にして、その人らしさを話し合い、常に本人を優先して物事を考えるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	障害があっても一個人として尊重して本人が喜ぶサービスの提供ができるように考え、自分たちの理念を確認しながら、取り組んでいる。毎朝、全員で唱和している。	理念をホールや玄関に掲示し、毎朝、職員で唱和し実践に結びつけている。職員会議などで考え方を確認し振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の理美容院に出かけている。ドライブで近くのスーパーで買い物をしたりする。又文化祭を福祉法人で行う際、地域の方との交流ができています。	地域の文化祭や菊まつり・夏祭りに出かけたり、法人の文化祭に参加し住民と交流している。近隣のスーパーマーケットやコンビニで買い物をしたり、理美容院を利用する等、地域住民と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	グループホームへの見学案内又近くの小学校との交流会や託児所との交流会で認知症の高齢者とのかかわりが出来るようにしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議に利用者家族や地域の代表者、市町村、警察署、消防署の出席者にサービス状況報告しそこで、意見をききサービスに生かしている。	定期的に会議を行い近況の活動報告をしたり、外部評価の報告をしている。意見をサービス向上に結びつけている。今年度から派出所の警察官も加わり、幅広い地域情報の収集や意見交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2か月に1回運営推進会議に利用者家族や地域の代表者、市町村の出席者にサービス状況報告しそこで、意見をききサービスに生かしている。また、わからないことはすぐに、市の担当者に相談するようにしている。	運営推進会議に毎回、出席して貰い、助言を得ている。電話や出向いて相談する等、市の担当者との連携を図っている。生活保護担当者とは報告等で出かけたりに来訪時に相談する等、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束ゼロをめざし、職員全体で取り組んでいる。具体的な行為を正しく理解しており、身体拘束をしないケアをめざしている。	マニュアルを基に年1回の内部研修で職員の理解を深めている。不適切な言葉遣いは気付いた時に注意し、職員の自覚を促している。身体拘束をしないように、委員会で事例を出して確認している。昼間は玄関のドアを開放し、利用者が外出しても散歩に切り替えて対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては管理者職員とも理解している。自分がされて嫌なことは言わない・しない等無理や介護を強いられたいしないように充分注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人制度を、学ぶ機会があれば研修に参加するように心掛けている。、内部研修を行って職員へも周知できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は家族に説明し重要事項説明書にて理解していただくように心がけている。遠方の方への入居後の説明が不十分にならないように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者の家族が面会時に、入居者の不満やご家族の不安など職員へ気軽に話せるように、日頃の状況を報告するなど職員から話しかけるようにしている。御意見箱を設置している。</p>	<p>利用者の意見や要望を日常の会話から汲み取り記録して全職員に伝わるようにしている。介護相談員との面談から意見等を聞いている。家族には運営推進会議や面会時に気軽に要望等を出してもらえるように、職員から声かけをして意見を聞き、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>グループホーム独自の職員会議は会議録を回覧して意見や疑問は伺い用紙にて上申するようになっている。</p>	<p>管理者は月1回の職員会議で意見を聞く機会を設けている。日常の記録やミーティングでも細かく意見交換を行っている。管理者に気軽に話しやすい環境ができています。個別相談は日常的に管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員会議や常日頃顔を合わせたときに職員に向けての励ましの声かけをしたり資格が取れるよう、勤務調整や情報提供を行っている。資格取得時にか資格手当等の支給がある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部での研修は職員が勤務内に順番に参加できるようにしている。研修を受けた職員が他の職員に研修内容を伝達する内部研修も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良・伊佐地区のグループホーム協議会に所属している。霧島市の地域密着型事業者連合会にも所属しており研修や交流会に参加する機会がある。職員間の交流がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談で顔なじみになるように心掛けご本人が一番困っていることを聞いたり様子で感じたりして話を良く聞けるよう工夫している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談・申し込みに来られた際家族の困っていること、ご本人に対してどのように思っているのか。又、利用されるまでの本人の状態や生活歴を知ることが出来るよう工夫している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族がご本人の気持ちを理解してグループホームを利用されるのか、ご本人の気持ちに沿ったサービス提供が出来るように心掛けている。入居前に見学に来ていただくようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の家事の手伝いや、エプロンの日に入居者皆様と参加して食事を作る機会や梅干し、ラッキョウを漬ける際の下ごしらえなど色々教えて頂きながら作るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の協力を頂きながら行事や誕生会、運営推進会議など行っている。誕生会は、ご家族に参加をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>暑中見舞いや年賀状で馴染みの方へ連絡したり、買い物支援やドライブなど入居者が過ごしていた場所に近い環境へ出かけていく。</p>	<p>親戚・知人の面会では居室でお茶を出したり、馴染みの理美容室・スーパーマーケットの利用・年賀状等の作成を支援したり、家族の協力を得て墓参りや自宅訪問・外食等を行い、これまでの関係を継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食堂やリビングでの過ごし方を気の合う同士で過ごしていけるように配慮したりして、お互いに支えあえるように職員が工夫している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院や他の施設へ入居されても職員が見舞いに出かけたり、ご家族が遊びにいらして下さったりしている。退所後の施設への面会など</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の要望や今困っていること等日常の様子や言葉の中から把握できるように努めている。チームで考え本人の思いが汲み取れるように意見交換をしている。きずいたら記録に残すようにしている。	日常生活の中で本人の思いを把握し情報収集している。利用者の言葉のままに介護記録に記入し、全職員がその人らしさを話し合っている。常に本人を優先して物事を考えるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際はご家族よりこれまでの暮らしについて話を伺い、必要時にご利用されていた事業所に情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のバイタル測定で全身状態の把握をして、本人のペースで過ごして頂くようにしている。朝礼で夜間の様子等申し送りをしている。朝のあいさつ時本人の様子を観察できる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時にご家族との話し合いで、何が一番して欲しいことや要望を聞き計画に反映できるように努めている。職員も積極的に意見を聞きケアに生かしているようにしている。日々の介護記録に本人の言葉を記入したりして本人がどのように過したかわかるようにしている。	本人の思いを基に家族の要望を把握し、主治医の意見を参考にして介護計画を作成している。モニタリングを月1回実施し、6ヶ月に1回及び状況変化時に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録は個別に記入しているご本人の様子がわかるように心掛けている。本人の話した言葉等で気持ちが分かるように記録している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>同じ敷地内に病院や老人保健施設があり、身体状況に応じ病院受診や認知の状態の変化・要介護度などで特老等入居者様にあつた居場所の検討を話し合っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>理美容室は地域へ出かけていき、なじみのお客さんとの交流ができ楽しみにしている、ご本人が希望するところへ出かけている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同敷地内のかかりつけ医に体調不良時受診している、眼科・歯科は往診等のサービスを受けられるようにしている。遠方への受診はご家族の協力も得ている。皮膚科受診など</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を家族の協力も得て支援している。隣接の協力医療機関で24時間医療連携体制が整っている。眼科・歯科の往診等、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>管理者が看護師であり同敷地内の病院の看護師、老健の看護師に相談し適切な受診看護が出来る環境にある。敷地内の病院の外来の看護師が相談に乗り受診できる体制を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医師の情報提供やホームの看護サマリーなど本人の日常の様子が分かるようにしている、又入院中は様子伺いに行ったりと医師・看護師より本人の様子を聞く事が出来るよう関係作りが出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応や救急蘇生法など年2回の防災訓練で研修できるようにしており、ホーム内での研修も行っている。</p>	<p>契約時に、重度化等の場合のホームの対応について説明している。介護度4を目安に、ホーム外の施設利用について家族に説明し、家族の意向に沿って支援に取り組んでいる。状況の変化によってその都度話し合いを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急時のマニュアルにそっての対応を実践できるようにしている。消防署の指導のもと救急蘇生法も訓練をしたりホーム内での内部研修も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練に全職員が参加できるようにしている。防災訓練に地域の方へも協力を依頼している。自動火災報知機やスプリンクラー設置等設備も完了した。</p>	<p>年2回、消防署の指導のもと災害訓練を行っている。マニュアルを基に、毎回、器具の点検や訓練の確認をしている。運営推進会議と同日に訓練を取り入れて参加してもらっている。法人内の協力体制が築かれており、スプリンクラーや自動火災報知器等も設置済みである。備蓄は、インスタント物や水など揃えている。隣接施設でも一括管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや態度に注意しながら対応を行っている。その日その時の状態を観察し対応行うようにしている。	年1回研修を実施し、利用者の尊厳や権利を擁護しながら言葉は特に重視し、馴れ合いにならないように、一人ひとりを大切に支援している。さん付けでの呼びかけを基本にしており、排泄介助時のさり気ない声かけや入浴の同性介助等、プライバシーや羞恥心に配慮して対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のやり方を見てから声かけし希望を伺うようにしている。また入居者様が自分で自己決定できるよう声かけ・口調に注意している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常より家族に自宅での過ごし方を聞き、興味を示されたらそれに沿って支援を行い、個々の体調や希望に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に入居者の希望される理美容室へ行くようにしており、起床時や入浴後は髪を櫛でご自身で梳いて頂いたりしている。衣類も本人の好みを聞き選んでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューを声に出して読み上げたり、料理の内容を説明するなどして食事に楽しみを持って頂けるよう工夫している。職員と一緒に食べることにより食事の会話がありさりげなく介助もできている。</p>	<p>利用者の「エプロンの日」をもうけ、職員と料理作りを行っている。保存食作りで、作って食べる楽しみも工夫して取り組んでいる。栄養士の献立で、行事食や誕生会食を提供している。職員と一緒にお盆ふきや食事・片付けを行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分摂取、食事とも摂取量をチェックし摂取量が少ない時には管理栄養士・医師に報告し代替食品（高カロリー栄養食）とこの使用を検討するなどして対応している。量や固さも個人に合わせ支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>1日3回毎食後に、利用者につき添い入居者の方の状況に応じて介助・見守りを行っている。入れ歯の方は夜間預かり消毒を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご自分でできることはして頂き不潔行為等ないように、排泄パターンに合わせて時間ごとに声かけを行う等の支援をしている。</p>	<p>排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や見守りで日中はトイレでの排泄を支援している。リハビリパンツから布パンツに改善した利用者もいる。夜間は個々に応じてポータブルトイレやオムツも使用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認が取れないときは、職員間で連絡を密にして、運動、水分補給を促し、腹部マッサージを行う等の支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望を聞きお湯加減は調節している。体調に合わせて対応している。基本は2日に1回の入浴だが希望者は毎日入浴も可能である。入浴が苦手な入居者様はご家族と話し合い本人の希望に沿う様にしている。	週3回午前中の中の入浴を基本にしているが、事業所の決められた曜日ではなく希望を聞いて入浴をしている。同性介助も希望があれば対応している。シャワー浴も行っている。入浴を拒む利用者がいても言葉かけや対応の工夫をして入浴している。無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温や家具の配置に気をつけて安眠できるよう気を配る。不眠が見られた際は、暖かい飲み物を勧めたり話し相手になる等して対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院から定期薬の説明書を頂いて確認できるようにしている。変更があった場合は口頭と連絡帳の両方で確認し、職員全員が共有できるようにしている。症状の変化時は記録・報告を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々のレクや軽作業など本人に確認を取りながら、参加して頂き本人の好まれる活動を勧めて気分転換を図って頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ドライブや敷地内の散歩をして頂いている理美容室や買い物等の地域の方とのふれあいも支援している。本人の希望をご家族にも伝えてホームで対応できない場合協力してもらっている。</p>	<p>日常的に散歩や外気浴を行っている。出口にベンチがあり、雨の日などは、世間話をしている。年間計画で花見・紅葉狩り・神宮や観光施設へのドライブ、個別対応のカラオケ等、利用者の希望を聞きながら、できるだけ出かけられるよう支援している。家族の協力で墓参りや自宅訪問・外食等に出かける利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出の日に近辺のスーパーで利用者の方にも買い物して頂いており、ご本人も大変喜ばれる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけて声を聞いたり年賀や暑中見舞い等のやり取りはしておられる。グループホーム便りで状況をお知らせしたりして入居者様の暮らしが分かるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員や入居者の折られた折り紙で作った作品や季節の物を飾り、風呂場の温泉のれん等で快く過ごして頂けるよう支援している。室温も声かけしながら調節しており、湿度も空気清浄機や加湿器などを利用し快適に過ごして頂けるようにしている。	台所のある食堂及びソファやテレビを置いた和室の居間は、中庭に面して明るく、温度や湿度の調整を空気清浄器や加湿器・エアコンで行っている。ホーム内は折り紙や季節の作品が飾られ、利用者がユニット間を自由に行き来しながら、思い思いに過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースでもご自分の椅子を用意して頂き、居間から庭が見え、のんびり過ごせるよう配慮している。食堂やリビングなどで気の合った入居者様同士で会話を楽しんでいる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた物を持ってきていただいたり、整理整頓、片付けも入居者で行う等して、本人の希望に沿って居心地良く過ごせるよう工夫している。	居室にはベッドと収納スペースが備えてあり、利用者はそれぞれに必要なものを持ち込んだり、折り紙や作品・写真等を好みに飾りつけ、本人が居心地良く過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、廊下に手すりが設置してあり、安全に歩行できるようにしてある。自分の部屋やトイレの場所が分かる様名前や張り紙等にて工夫してある。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない